

**製品名:** リン酸化 IκB アルファ (Ser32) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe02143

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	NFKBIA
別名	NFKBIA; IKBA; MAD3; NFKBI; NF-kappa-B inhibitor alpha; I-kappa-B-alpha; IκB-alpha; IκappaBalpha; Major histocompatibility complex enhancer-binding protein MAD3
遺伝子 ID	4792
SwissProt ID	P25963
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

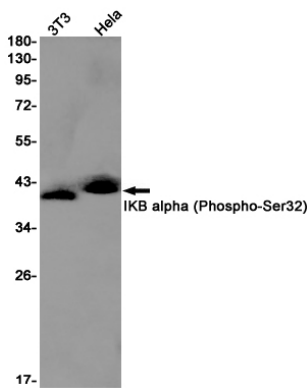
## 背景

NFKB1 (MIM 164011) または NFKB2 (MIM 164012) は、REL (MIM 164910)、RELA (MIM 164014)、または RELB (MIM 604758) と結合して NFKB 複合体を形成します。NFKB 複合体は I- $\kappa$ B タンパク質 (NFKBIA または NFKBIB、MIM 604495) によって阻害され、NF- $\kappa$ B は細胞質内に捕捉されて不活性化されます。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



リン酸化 IKB アルファ (Ser32) 抗体を使用した 3T3、Hela 溶解物中の IKB アルファ (リン酸化 Ser32) のウェスタンブロット分析。